



金色堂を包み込む覆堂（中尊寺）



浄土世界を表す毛越寺の庭園

世界文化遺産として登録された『平泉』

- ◆世界遺産とは、世界の文化および自然遺産の保護を目的に1972年にユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が採択した世界遺産条約に基づいて、「人類が共有すべき顕著な普遍的価値を持つ」として登録された物件です。
- ◆建築物や遺跡などの文化遺産、地形や生物、景観などの自然遺産、そして双方を兼ね備えた複合遺産の3つから構成されています。
- ◆平安時代より金や鉄、米や馬などで富と権力を蓄積した奥州藤原氏、1094年藤原清衡はこの平泉に政治文化の中核をおき、仏の教えによる平和な理想郷浄土づくりをめざしました。みちのくの地に展開されたこの華やかな文化が評価され、東北でははじめての世界文化遺産として登録されたのです。
- ◆構成資産
仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群（岩手県西磐井郡平泉町）・中尊寺 金色堂を含む・毛越寺・観自在院跡・無量光院跡・金鶴山

（2011年6月登録）